

---

# ワーキンググループの 設置について

---

令和3年12月13日

環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室



---

# 1. 技術・システム検討 ワーキンググループ の設置について

---

## 昨年度の検討事項

南海トラフ地震を対象とした災害廃棄物処理シナリオについて、全国的な処理シミュレーションを実施し、可燃物・不燃物の広域処理先や広域処理に必要な輸送能力等について検討した。検討の結果、適正な処理期間の設定に向けては、リサイクル率の向上、陸送を含めた広域運搬手段の確保、地域性や建物構造を考慮した組成割合の設定等の課題が残されていることが明らかになった。



## 今年度の検討事項（案）

### ■【検討事項1】南海トラフ地震における災害廃棄物発生量・組成割合の見直し

- 平成29年度に行った災害廃棄物発生量の見直しから4年が経過していることから、最新の建物情報に基づく災害廃棄物発生量の見直しを行う。
- 地域性（津波浸水域内・外）や建物構造を考慮した組成割合の設定を検討し、地域ブロックごとの組成の特徴を捉えたりリサイクル推進方策の検討や広域輸送量の精査等につなげる。

### ■【検討事項2】リソースの確保及び再生利用に向けた検討

- 昨年度実施した船舶による広域輸送の検討に車両を加え、海上・陸上の両面から広域処理に必要な輸送能力の検討を行う。
- セメント会社へのヒアリング調査等により、処理が逼迫する不燃物のセメント原料化に向けた検討を行う。
- 処理が遅れると風化し再生利用が困難となる木くずを対象に、地域ブロックごとの受入先や受入可能量を把握する。

# 令和3年度技術・システム検討WGの開催状況



## 第1回検討会

日時：令和3年11月22日（月）10：00～12：00

場所：WEB 会議システム（WEBex）によるWEB 開催

【同時開催】パシフィックコンサルタンツ（株）本社1703 会議室

議事：（1）南海トラフ地震における災害廃棄物発生量・組成割合の見直し  
（2）リソースの確保及び再生利用に向けた検討

## 第2回検討会

日時：令和4年1月28日（金）10：00～12：00 （予定）

場所：WEB 会議システム（WEBex）によるWEB 開催

【同時開催】パシフィックコンサルタンツ本社（予定）

## 第3回検討会

日時：令和4年2月18日（金）10：00～12：00 （予定）

場所：WEB 会議システム（WEBex）によるWEB 開催

【同時開催】パシフィックコンサルタンツ本社（予定）

## 令和3年度技術・システム検討WG委員



### <座長>

牧 紀男	京都大学防災研究所社会防災研究部門 教授
------	----------------------

### <委員>

中村 俊一	大阪府 環境農林水産部 循環型社会推進室 資源循環課 参事
庄司 学	筑波大学 システム情報系 構造エネルギー工学域 教授
池上 雄一	高知県林業振興・環境部 環境対策課チーフ（計画推進・一般廃棄物担当）
田畑 智博	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授
寺内 清修	一般財団法人日本環境衛生センター環境事業第三部 次長
永田 尚人	一般社団法人日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)防災委員会 委員
浦 哲治	京都市 環境政策局 循環型社会推進部 資源循環推進課 技術担当課長
舟山 重則	一般社団法人日本災害対応システムズ 事務局長
松岡 昌志	東京工業大学 環境・社会理工学院 教授
丸山 喜久	千葉大学大学院 工学研究科 建築・都市科学専攻 教授

---

## 2. 地域間協調ワーキンググループ の設置について

---

# 令和3年度地域間協調WGにおける検討事項（案）



## 昨年度の検討事項

令和2年7月豪雨の被災自治体等の関係者へヒアリングを実施することにより、環境省等がこれまで実施してきた支援方法の有効性について検証を行い、円滑・効果的な支援を行うための留意点を整理した。一方で、ヒアリングを行う中で各自治体の災害廃棄物処理計画の実効性に課題があることが明らかとなった。



## 今年度の検討事項（案）

### ■【検討事項1】処理計画の実効性の向上のための検討

- 災害廃棄物処理計画の実効性に関する課題（例：処理事業の全体像やスケジュールの記載が不十分等）が挙げられたことを踏まえ、処理計画の検証を行う。処理計画の検証は、被災自治体等へのヒアリングにより行う。
- 検証結果を踏まえ、処理計画に記載が必須の事項・記載が望ましい事項や処理計画の点検の視点を整理し、「処理計画作成時の留意点（案）」及び「災害廃棄物対策指針の改善点（案）」を整理する。

### ■【検討事項2】職員の災害対応能力の向上のための検討

- 自治体職員の災害対応能力の向上のため、関係者へのヒアリングを通して、今後都道府県や環境省が取り組む人材育成の方法について検討する。

# 令和3年度地域間協調WGの開催状況



## 第1回検討会

日時：令和3年12月6日（月）10：00～12：00

場所：WEB 会議システム（WEBex）によるWEB 開催

【同時開催】パシフィックコンサルタンツ（株）1703 会議室

- 議事：（1）地域間協調ワーキンググループにおける検討事項について  
（2）処理計画の実効性の向上のための検討について  
（3）自治体職員の災害対応能力の向上のための検討について

## 第2回検討会

日時：令和4年2月3日（木）10：00～12：00 （予定）

場所：WEB 会議システム（WEBex）によるWEB 開催

【同時開催】パシフィックコンサルタンツ本社（予定）

## 第3回検討会

日時：令和4年2月24日（木）10：00～12：00 （予定）

場所：WEB 会議システム（WEBex）によるWEB 開催

【同時開催】パシフィックコンサルタンツ本社（予定）



## 令和3年度地域間協調WG委員



### <座長>

浅利 美鈴	京都大学大学院地球環境学堂 准教授
-------	-------------------

### <委員>

上村 一成	福岡県朝倉市 保健福祉部 子ども未来課 課長
-------	------------------------

大川 敏彰	公益社団法人全国都市清掃会議 総務部長
-------	---------------------

鈴木 慎也	福岡大学工学部社会デザイン工学科 准教授
-------	----------------------

高田 光康	国立環境研究所 資源循環領域 客員研究員
-------	----------------------

多島 良	国立環境研究所 資源循環領域 主任研究員
------	----------------------

立尾 浩一	一般財団法人日本環境衛生センター総局 資源循環低炭素化部 部長
-------	---------------------------------

齋島 崇文	東京都環境局 資源循環推進部 計画課 課長代理 (計画担当)
-------	--------------------------------

原田 賢治	静岡大学防災総合センター 准教授
-------	------------------

半澤 大	千葉県館山市 建設環境部 環境課 一般廃棄物係長
------	--------------------------

安富 信	神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 教授
------	-----------------------